

## 令和4年度 旋盤実技指導力向上研修 実施要項

- 1 目的 民間企業の高度熟練技能者等による講義・実技訓練等を通して、製造現場でのものづくりの考え方や仕上げ作業に関する知識・技能等、総合的な実技指導力の向上を図る。
- 2 対象 府立高等学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）、府立支援学校（高等部）の工業（機械）担当教員

募集人数 5名

## 3 内容等

| 回           | 日時                           | 内容                               | 講師等  |
|-------------|------------------------------|----------------------------------|--|
| 1<br>・<br>2 | 8月4日（木）<br><b>9:00~17:00</b> | 安全教育・測定<br>旋盤の基本作業<br>〔講義・実習・協議〕 | パナソニック株式会社<br>エレクトリックワークス社<br>高度熟練技能者等<br>大阪府教育センター<br>指導主事等 |
| 3<br>・<br>4 | 8月5日（金）<br><b>9:00~17:00</b> | 旋盤作業の基本実習1<br>〔講義・実習・協議〕         |  |
| 5<br>・<br>6 | 8月8日（月）<br><b>9:00~17:00</b> | 旋盤作業の基本実習2<br>〔講義・実習・協議〕         |  |
| 7<br>・<br>8 | 8月9日（火）<br><b>9:00~17:00</b> | 旋盤作業の応用課題<br>〔講義・実習・協議〕          |  |
| 9           | リアルタイム開催<br>8月下旬             | 課題作品の検討・評価・成果発表<br>〔協議・発表〕       |  |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

## 4 会場 第1～8回

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社  
エレクトリックワークステクニカルカレッジ  
(門真市大字門真 1048 番地 電話 06-6908-1435)

京阪電鉄京阪本線「西三荘」駅下車、北へ約300m  
Osaka Metro 谷町線「大日」駅下車、南西へ約900m  
大阪モノレール「大日」駅下車、南西へ約1,000m

## 第9回 所属校等

## 5 担当室 高等学校教育推進室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
  - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (3) 自家用自動車・バイク等は会場に駐車できません。
  - (4) 問い合わせ等は、高等学校教育推進室(06-6692-1882)まで行うこと。
  - (5) 第9回の日時については、別途通知する。
  - (6) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
  - (7) Web 開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

一括募集2

## 令和4年度 旋盤実技指導力向上研修 シラバス

3562

## 1 目的

民間企業の高度熟練技能者等による講義・実技訓練等を通して、製造現場でのものづくりの考え方や旋盤作業に関する知識・技能等、総合的な実技指導力の向上を図る。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職<br>スタンダード | 共通の指標 |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
|                    | I     |   |   | II |   |   | III |   |   | IV |    |    | V  |    |    |
|                    | 1     | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7   | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第3期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    | ○  |    |    |    |
| 第2期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   | ○  | ○  |    |    |    |    |
| 第1期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第0期                |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |

## 3 研修課題とねらい等

| 回           | 研修課題       | ねらい  | 内容  | 準備物・事前課題  |
|-------------|------------|--|---|---|
| 1<br>・<br>2 | 安全教育・測定    | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全作業の重要性を知り、指導に生かせる力を身に付ける。</li> <li>測定器の使用法や測定の重要性を知り、指導に生かせる力を身に付ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>KYT などを通して企業における安全衛生教育等について学ぶ。</li> <li>旋盤作業において用いられる測定をあらかじめ知ることにより、測定の重要性和求められる精度を学ぶ。</li> </ul> | <b>準備物</b><br>作業服、作業帽、保護メガネ、安全靴、スケール150mm、ノギス150mm、マイクロメータ（0.01mm単位のもので、0～25mmと25～50mm） |
|             | 旋盤の基本作業    | 機械の名称、旋盤のハンドル操作や点検の仕方、ワークや刃物の取り付けおよび芯だし等について学ぶ。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>旋盤を扱う上での基本事項を身に付ける。</li> <li>工作物や敷金、刃物の取り付け方等、生徒を指導するのに必要な知識や技能を身に付ける。</li> </ul>                  |   |
| 3<br>・<br>4 | 旋盤作業の基本実習1 | 工具類及び測定器の作業台上への配置の基本的な考え方について学ぶ。   | 操作しやすいよう、作業台上に工具類を適正配置する重要性や作業台上に配置する方法について学ぶ。  |   |
|             |            | 端面加工を正しく行うために必要な知識や方法について学ぶ。   | 工作物の端面加工実習を通して、端面加工の技術を学ぶ。  |   |
|             |            | 外形加工及び段加工について学ぶ。   | ・外径加工及び段加工の実習を行う。   |   |

|             |                 |   |   |  |
|-------------|-----------------|---|---|--|
|             |                 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・回転数と送りの設定を変えて、外形加工と段加工を行い、作成した作品の寸法を測定し、適切な切削条件（回転数・送り、切り込み量）について考察する。</li> </ul> |  |
|             |                 | テーパ加工の手法について学ぶ。                                     | 工作物のテーパ加工実習を通して、テーパ加工の手法を学ぶ。  |  |
| 5<br>・<br>6 | 旋盤作業の基本実習2      | ドリル穴あけ加工について学ぶ。                                     | 工作物のドリル穴あけ実習を通して、ドリル穴あけの技術を学ぶ。  |  |
|             |                 | 中ぐり加工、テーパ加工など応用的な加工技術を知る。                           | 中ぐり加工とテーパ加工の実習を行う。テーパのはめあいについては新明丹のあたりで確認する。  |  |
| 7<br>・<br>8 | 旋盤作業の応用課題       | 研修で習得した加工技術を駆使し、応用課題に取り組み、技能を深める。                   | 応用課題の製作に取り組む。   |  |
| 9           | 課題作品の検討・評価・成果発表 | 課題作品の検討・評価をふまえ、研修成果を今後どのように活かすか、成果発表や研究協議を行うことで深める。 | 研修で得た知識・技術・技能や学校への還元など、研修成果について発表ならびに協議する。  |  |